

社会情報論 II

科目ナンバリング SOC-106
【IV】 選択 2単位

吉野 ヒロ子

1. 授業の概要(ねらい)

「社会情報論」とは学際的な研究領域で、ビッグデータの分析など情報科学と社会科学が融合した学問です。この授業では、『メディア社会論』(辻泉ほか)を中心に、社会情報論の社会科学側面から、現在の社会における情報のあり方を解説します。

2. 授業の到達目標

インターネットやメディアが社会をどう変えたのかを理解する。
どのような「つながり方」が望ましいのか判断するために、必要な知識を身につける。
メディア・リテラシーを高める。

3. 成績評価の方法および基準

レスポンスペーパーの内容と提出状況によって足切りを行い(5回以上未提出であればDまたはD2)、LMSで行うミニテストの累計点(100%)で判断します。

4. 教科書・参考文献

参考文献
辻泉ほか メディア社会論 有斐閣

5. 準備学修の内容

- ・個々の課題についてはその都度教場で指示します。
- ・ソーシャルメディアやビッグデータ分析に関するニュースや記事を日々チェックし、記録しておく習慣をつけてください。

6. その他履修上の注意事項

- ・毎回レスポンスペーパーを課します。書くのが苦にならない人、書くのが苦手だが改善したい人を歓迎します。
- ・レスポンスペーパーのうち、興味深いものは次回講義冒頭で、個人情報伏せて紹介させていただきます。

7. 授業内容

【第1回】 社会情報学とはなにか
【第2回】 変容するメディア社会
【第3回】 ネットワーク化の来歴
【第4回】 モバイルデバイスの来歴
【第5回】 コンテンツ・メディアの来歴
【第6回】 ソーシャルメディアの功罪
【第7回】 ネット広告の功罪
【第8回】 ユビキタス／ビッグデータの功罪
【第9回】 変わりゆくリアリティ
【第10回】 変わりゆくテクノロジー
【第11回】 GAFAの光と影
【第12回】 メタバースという夢
【第13回】 VRとARはいつ「来る」のか
【第14回】 全体のまとめと振り返り
【第15回】 ソーシャルメディア栄枯盛衰(オンライン・冬休み期間中に設定)